

テーマ「食育から健全育成を考える」 サブテーマ「～早寝 早起き 朝ごはん～」

発表者：和歌山市立有功小学校育友会

（司会：青木勝隆教頭 パネリスト：酒井知子栄養士 発表：宮崎一暢育友会長）

以下、発表要旨

=====

## 1 はじめに

本校は、和歌山市の北部、紀ノ川と和泉山脈の南に位置し、園部地区から成り立っている。従来は農業中心の静かな田園地帯であったが、S33に海草郡有功村から和歌山市に編入し、S39に鳴滝地区に開発公社による造成がされ、このあたりから園部・六十谷地区に居住者が急激に増加、規模も和歌山市屈指のマンモス校となる。児童数増加に伴い、S54に鳴滝小学校を、H5に有功東小学校を、新設・分離して現在に至る。児童数は、本年度当初342人（学年あたり約60人、各学年2クラス）である。

本校育友会の本部役員は19名。

（内訳）会長1名・女性代表1名・副会長1名・会計2名・監査2名。

保体部・安全指導部・環境部・広報部・まつり実行委員会と5つの専門部があり、本部役員を長として各学年の保護者数名を抽選で選出している（保護者は6年間で約2回選出されるような仕組み）。

## 2 本校と食育の関わり

### （1）沿革

H14 市で最初のドライシステムを取り入れた給食室ができる

H15 「食と健康」について、市教育委員会研究校に指定（H22まで）

H16・県学校給食優良学校表彰 受章

・全国学校給食研究協議会文部科学大臣表彰 受章

H17 （食育基本法施行）

H19 第17回和歌山県農業教育賞 受賞

H20 文科省「子どもの健康を育む総合食育推進事業」の実践中心校に指定

**H21 第4回全国学校給食甲子園 準優勝**

H22 「和歌山市子ども元気アップ大作戦」研究協力実践校に指定

H23 「食に関心をもち、健康について考えられる子の育成」食と健康

和歌山市研究指定校（R1現在まで）

### （2）研究主題

H17の食育基本法施行以降、各校でも食育の取組はなされているかと思うが、PTAとして、まず自校の取組を知ること、次に、学校の取組をどのようにどんな方法でサポートしていけるかを考えてみたい。

### （3）本校育友会の関わり

\* H21の全国学校給食甲子園準優勝時には「㊦出場」の懸垂幕を作成した。

\* 次に、それ以降何か継続的に示しておける標語はないだろうかと考えた末に、「早寝早起き朝ご



「はん」の懸垂幕を作って、10年以上経過した現在でも掲げている（写真）。

食生活と健康は深く関係している。朝食の欠食は肥満や生活習慣病の発症につながることもあり、また、毎朝朝食を食べる子供ほど、学力テストや体力テストの点数が高い傾向にあることも報告されている。

懸垂幕そのものの効果を検証することは難しいが、毎日見かけることにより潜在的な効果があることを期待している。

\* 毎年11月に育友会主催の「いさおこども祭り」を行っているが、過去に、児童が「生活科」の授業で作った梅酢を使った唐揚げを販売したり、近隣のお弁当屋とコラボしてオリジナル弁当を販売した（写真）。



### 3 まとめ

本校の「生活科」の学習時間に「栽培・収穫・調理・会食の体験活動」と「栄養素の学習を含めた健康に関する知識」を、教員・栄養士・給食調理員等学校職員全員が関わり取り組んでいる。

そして、本校の給食には和歌山県特産の食材及び料理法を取り入れている。そのことにより、地元へ愛着がわき、地元を誇りに思う心を育む、すなわち食育が健全育成に大きく貢献していると考えられる。

また、PTAとして、まず自校の取組を知り、後方支援をすることにより、学校全体、地域全体で「我らの郷土有功」という気風に貢献したいと思う。

### 4 (参考)

全国学校給食甲子園準優勝時の献立

(HPより転載)

- \* めはりずし
- \* 紀州梅鶏の梅酢揚げ
- \* インゲンと「ほねく」の煮物
- \* かき玉汁
- \* みかん

